

平成 30 年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	精選 古典B (三省堂)						
副教材等	古典文法ノート(尚文出版) 古文単語 301(尚文出版)、新国語便覧 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ

- ・優れた古文と漢文の作品に親しみ、その時代に生きた人々の考え方や感じ方を学び、今の私たちの文化との関係を考えましょう。
- ・様々な文章を正確に読むために必要な語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。

2 学習の到達目標

- ・2年次の古典Bの学習に続き、様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
- ・古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
- ・優れた表現に親しみ、特に日本と中国の文化の関係を考える。
- ・古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記などを理解し、知識を身につけている。
主 たる 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検(ノート・ワークプリントなど)	行動の観察 (発表などのパフォーマンスの評価) 記述の確認(ワークプリント) 定期テスト	記述の確認及び分析(ノート・意味調べプリント・ワークプリントなど) 定期考査・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	物語(一)	教材:『源氏物語』「夕顔」	○	◎	◎	a:長編物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 c:最高敬語、終助詞、和歌の役割を理解する。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査
	物語(二)	教材:『大鏡』「肝試し」	○	◎	◎	a:歴史物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 c:助動詞・敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査
	評論	教材:『古今和歌集』「仮名序」	◎	○	○	a:有名な和歌集の序に述べられた和歌の本質を述べた歌論を読んで、二年で学習した和歌への理解を深める。 b:和歌の本質・起源を理解する。 c:係助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査
2学期	史伝(一)	教材:『三国志』「乱世之姦雄」・「左右莫敢近者」	○	◎	○	a:訓読しながら本文の展開と内容を理解しようとしている。 b:漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 c:三国志の概要を知る。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査
	日記	教材:『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」	○	◎	◎	a:日記文学に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 c:和歌の修辞技巧について、理解する。助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査

	評論	教材:『源氏物語玉の小櫛』 「もののあはれ」	○	◎	○	a:論のポイントになる、儒教・仏教の論理と物語論理の違いを理解する。 b:古文における評論を読んで、作者の思想を読み取る。文章の内容を論理構成や展開に即して的確に捉える。 c:近世の語彙・語法を理解する。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査
3学期	近世の小説	教材:『雨月物語』「浅茅が宿」	○	◎	○	a:大意のつかみやすい近世小説に接し、積極的に内容を理解する。 b:近世小説を読んで、大意把握の力を養う。 c:近世の語彙・語法を理解する。	a:授業の取り組み姿勢 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む能力
c:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。